

11/2 厚別公園競技場ハンドホール内ケーブルの 通電確認のためのテストレースの結果報告

8:30 雨のため、サブトラ前から来た順に主競技場の役員室に行って貰い受付する。

8:40 札幌陸協会長、厚別公園競技場場長の挨拶から、市のスポーツ局からの参加者の紹介。その後、段取りの説明。

8:50 セッティング(機材はすべていつもの機材庫)から運ぶ。

バックストレートフィニッシュの写真判定カメラのセッティング中に、200mのハンドホールの逆走インカメラの差し込み口が一のパッキン破損が判明し、インカメラに電力、信号が行かないため逆走のテストはアウトカメラのみで行うことにする。

10:30 逆走 100m テストレース

10:40 300m テストレース

11:00 200m テストレース

11:10 100m テストレース

11:20 400m テストレース

11:00 すべての片付け

11:30 各係からの状況報告



状況報告

〈スターター〉

インカムの調子が悪かったが、来年度からは無線インカムになるので、接触不良等は解決されると思う。

〈風力〉

逆走時の風力ケーブルを400mのハンドホールからとってバックストレートまで這わせるが、投擲の場所を避けるならケーブル長が最低でも150mは必要。無線で飛ばせるのがベスト。来年度初めにフィニッシュタイマーのレクチュアが必要。

〈写真判定〉

逆走インカメラの200mハンドホールの差し込み口のパッキンは損で中に水が入り込んでいた部分の修理が必要。4つカメラを乗せる雲台は新調されたためぐらつかなくて良かった。

〈全体〉

各ハンドホールの蓋を開けるためのフックが、スターター、写真判定のカゴ車に常備して欲しい。シーズン前に破損が確認されて良かった。